



東日本大震災復興支援  
第66回 国民体育大会  
バスケットボール競技会

おめでとう! 山口国体  
君の一生けんめいに会いたい

少年女子 3回戦

主審 岩田 友幸

副審 中島 淳

山口県 50

2	21
21	14
8	16
19	9
—	—

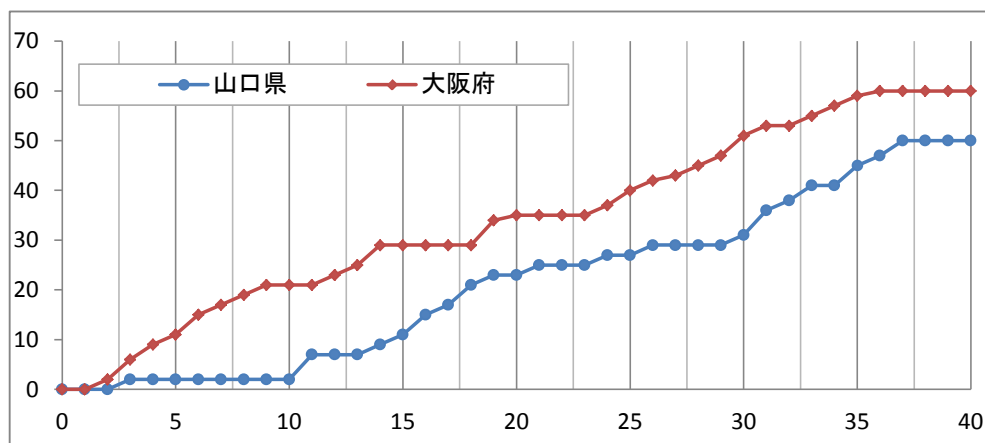
60 大阪府



No. 4E1

日時: 2011年10月4日(火) 10:00

会場: ソルトアリーナ防府(防府市)



## 山口県

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 山本 未来 (C)	2	0	1	0	4	1	1
5	* 小嶋 菜月	7	1	2	0	3	2	2
6	重光 沙苗	0	0	0	0	1	5	0
7	* 廣田 愛弥	4	0	2	0	1	6	0
8	藤田 梨歩	15	2	4	1	4	2	1
9	大村 里生	0	0	0	0	0	1	0
10	村田 真紀	-	-	-	-	-	-	-
11	中村 和泉	0	0	0	0	0	1	0
12	* 鶴川 桃佳	14	2	4	0	1	4	2
13	市丸 亜由己	-	-	-	-	-	-	-
14	* 松本 愛美	8	0	3	2	2	5	3
コーチ 小松 徹		/	/	/	/	/	/	/
合計		50	5	16	3	16	27	9

## 大阪府

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 岡 萌乃 (C)	8	0	4	0	1	10	1
5	* 北村 悠貴	16	0	7	2	2	3	1
6	* 大城 利佳	16	1	5	3	0	6	0
7	* 畠中 春香	6	0	2	2	1	4	0
8	* 中川 千夏	2	0	1	0	1	9	2
9	石倉 いずみ	-	-	-	-	-	-	-
10	田中 真琴	7	0	2	3	1	6	0
11	青木 宥佳	0	0	0	0	0	0	0
12	ヴィヨー 郁里	0	0	0	0	2	3	0
13	両見 春奈	5	0	2	1	0	2	0
14	今仲 杏奈	-	-	-	-	-	-	-
コーチ 浅貝 修二		/	/	/	/	/	/	/
合計		60	1	23	11	8	43	4

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

## 戦評

3回戦、開催県の期待を背負う山口県とインターハイ2位の薫英女学院を中心とする大阪府の対決。両チームマンツーマンでスタート。大阪#4のリバウンドシュートで先制。山口は硬さがみられなかなかシュートが入らない。大阪はインサイドや#6のドライブで加点する。2-11となり山口タイムアウト。しかし流れは変わらず、山口のシュートはことごとくリングに嫌われる。一方の大阪は#6を中心に得点を重ね2-21で終了。2Q山口がゾーンを交えてディフェンスを展開、追い上げをはかる。交代で入った#8がドライブ、3Pと得点を重ねる。一方の大阪も#7のインサイドを起点に得点を重ねる。負けじと山口#14が3P、ジャンプシュートで点差を縮める。一時は一桁まで迫るが23-35で前半終了。3Q両チームシュートが入らない状態が続いたが、中盤大阪が#6の3P#5のインサイドで引き離しにかかる。山口も粘りたいがシュートが入らない。終了間際大阪#5のタップシュートも決まり31-51で終了。4Q山口は追撃に入る。#12が大爆発。ドライブ、3Pと得点を量産。10点差まで迫り、会場はヒートアップするが、このまま50-60で大阪が勝利し、ベスト8進出を決めた。山口としては1Qの得点差が響いた試合であった。大阪府の底力が勝ったゲームだったが、最後まで粘りを見せた山口の健闘も称えたい。

© 2011 Yuzo Kosaka All Rights Reserved Vol.005

No. 4E1 日時: 2011年10月4日(火) 10:00 会場: ソルトアリーナ防府(防府市)

戦評

3回戦、開催県の期待を背負う山口県とインターハイ2位の薫英女学院を中心とする大阪府の対決。両チームマンツーマンでスタート。大阪#4のリバウンドシュートで先制。山口は硬さがみられなかなかシュートが入らない。大阪はインサイドや#6のドライブで加点する。2-11となり山口タイムアウト。しかし流れは変わらず、山口のシュートはことごとくリングに嫌われる。一方の大阪は#6を中心に得点を重ね2-21で終了。2Q山口がゾーンを交えてディフェンスを展開、追い上げをはかる。交代で入った#8がドライブ、3Pと得点を重ねる。一方の大阪も#7のインサイドを起点に得点を重ねる。負けじと山口#14が3P、ジャンプシュートで点差を縮める。一時は一桁まで迫るが23-35で前半終了。3Q両チームシュートが入らない状態が続いたが、中盤大阪が#6の3P#5のインサイドで引き離しにかかる。山口も粘りたいがシュートが入らない。終了間際大阪#5のタップシュートも決まり31-51で終了。4Q山口は追撃に入る。#12が大爆発。ドライブ、3Pと得点を量産。10点差まで迫り、会場はヒートアップするが、このまま50-60で大阪が勝利し、ベスト8進出を決めた。山口としては1Qの得点差が響いた試合であった。大阪府の底力が勝ったゲームだったが、最後まで粘りを見せた山口の健闘も称えたい。

記者 酒井 紀暁 (所属) 山口県バスケットボール協会